

点検・評価の様式（手引版雛形）

政府統計コード	00450346
基幹・一般の別（選択記入）	特定一般統計調査
調査の名称	障害福祉サービス等従事者処遇状況等調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択（複数選択可）	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/> 月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/> その他
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1.調査の目的 <input type="checkbox"/> 2.調査対象の範囲 ※ <input type="checkbox"/> 3.報告者数等※ { 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 } <input type="checkbox"/> 4.報告事項とその基準期日 ※ { 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 } <input type="checkbox"/> 5.報告の方法 ※ { 報告を求めるために用いる方法 } <input type="checkbox"/> 6.報告を求める期間 ※ <input type="checkbox"/> 7.集計事項 ※ <input type="checkbox"/> 8.結果の公表方法及び期日 ※ { 調査結果の公表の方法及び期日 } <input type="checkbox"/> 9.使用する統計基準 <input type="checkbox"/> 10.調査票情報の保存 { 調査票情報の保存期間及び保存責任者 } <input type="checkbox"/> 11.立入検査 { 基幹統計調査のみ } 	一部不整合あり
-----------------------------	--	---------

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②で記載

点検・評価事項等 不整合の項目	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況		
	不整合の概要 (該当項目に○を入力し、概要を記載。複数選択可能)		対応方法 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
8. 調査結果の公表の方法及び期日※	<input type="checkbox"/> 公表実施時期	公表媒体	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し		次回調査時には、調査計画を変更せず、担当者の作業進捗管理を徹底し、調査計画と実態の整合を図る。
	<input type="checkbox"/> e-Statの掲載	閲覧表			
	特記事項 (○をつけた項目の概要を記載してください) 調査計画上の公表期日から1週間程度の遅延が発生した。 調査計画上の公表の方法はe-Stat、公表の期日は令和7年3月であったが、実際のe-Statへの公表期日は令和7年4月7日であった。		<input type="checkbox"/> その他	対応中/対応予定	

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<ul style="list-style-type: none"> □ 課題なし □ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） □ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
---	---

	見直し・改善の概要(自由記入)	見直し・改善の内容（左記の類型） (該当するものを選択、複数選択可能)	見直し・改善の対応方法・手段 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)
記入欄 No. 1	業務マニュアルの整備について、令和5年度に実施した省内の業務マニュアルの点検結果を踏まえ、次回調査（令和9年度実施）において、調査を行いつつチェックリスト項目を基にマニュアルを拡充し、令和9年度までに充実を図る。	調査計画の見直し・改善 <input type="checkbox"/> 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="checkbox"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 <input type="checkbox"/> 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定

③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は3回前の調査)
1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	達成精度	本調査については、目標精度を5%とし、直近の調査の有効回答率を基に想定有効回答率をサービス区分ごとに設定している。令和6年調査については、直近で実施した「令和4年度障害福祉サービス等従事者処遇状況等調査」の有効回答率を基に50~75%で設定している。	平成25年	令和6年度調査 54.4%	令和4年度調査(臨時調査) 54.2%	令和3年度調査 54.6%
	○ 回収率・回答率					
	回収調査票数					
	カバレッジ					
	その他					
	設定なし					